

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年1月7日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年1月7日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【周辺放射線監視用データ収集処理装置※のデータ設定不足による障害発生について】 当社当直員が周辺放射線監視用データ収集処理装置で気象データが閲覧できないことを確認。 調査したところ、2021年1月1日午前0時以降の福島県へ送信している全てのデータと当社ホームページに公表している気象データの伝送が停止していることを確認。 原因は、気象データを作成する上で必要な2021年1月1日以降の「日出時刻/日入時刻」が登録されていなかったことと判明。 2021年1月1日以降の「日出時刻/日入時刻」を設定することで、福島県へ送信している全てのデータと当社ホームページに公表している気象データの伝送が復旧。 (福島県へ送信している「大気安定度」の一部データに誤りがあり、それについては今後、正しいデータを送信予定。)今後、原因の深堀りと再発防止対策を検討予定。</p> <p>※周辺放射線監視用データ収集処理装置:環境放射線量と気象を監視するコンピューター。</p>	G II	1月1日
2	<p>【パトロール業務中における車両の接触について】 協力企業作業員がパトロール業務中に、モバイル淡水化装置(D)ユニット近傍にて車両を駐車するために後退させたところ、車両の後部を停車中のトラックに接触。 原因は、同乗していた協力企業作業員が降車し、車両誘導をしたが、停止の指示を誤認し後退を続け接触したものと推定。 今後、再発防止対策を検討予定。</p>	G III	1月5日